

古道を歩いて穂見神社を目指そう！

奥へと進むたび変わる、感覚のチャンネル

神々へとつづく、ふたつの古道
かつて、穂見神社を目指すのに、「高尾道」と、「平岡道・上宮地道」と呼ばれる二つの道がありました。この古道沿いには、昔の人々の生活・文化や信仰をあらわす跡や、絶景ポイントがあります。歩きながら、探してみましよう。
※今は平岡道沿いに高尾山林道が通っています。

木曳きの道
ハーフパイプのように、中央がくぼんだくねくね道。これは、林業が盛んだった頃、木を曳いて運んだ跡なのです。

馬頭観音
昔、馬は人々の生活に欠かせない存在でした。家族や馬の安全などを祈願したものと考えられます。

絶景スポット①
小高い盛り土の上ののぼると、富士山を見る事ができる場所です。

二十三夜塔
いよいよ、高尾集落への入口です。

分校跡
グラウンドが駐車場になっています。

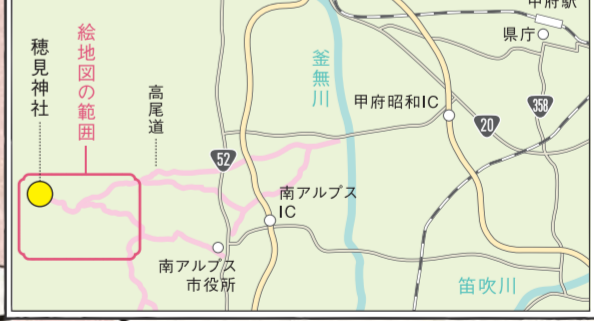
六本松(山ノ神)
高尾道の中間地点にある六本の松。ここを目指して上れば高尾まで迷わないとされた目印です。神座と見られる大きな石は、神さまが座る場所と言われています。

元祖、水力発電？
なんと、古道沿いには水力発電の跡があります。今は水を流す管を支える支柱のみが残されています。



道標
高尾から遠く離れた地域の古道(旧街道)沿いにも今も道標がひっそりと佇んでいます。「右あしから左かかを」(上今諏訪)

この辺りはまだ整備中



絵地図の範囲
穂見神社

青野集落(現牧場)
平岡道の中腹にとつぜん現れる広い空間。かつて青野村という集落があり、耕雲寺という寺院もありました。現在は広大な土地を活かし牧場が営まれています。

絶景スポット②
細い古道から、広い草原(し)に見る富士山は、爽快で心が良いものです。



牛捕淵(ウシトリブチ)
「牛捕淵(ウシトリブチ)の伝承」高さ約27mほどの滝。山から動物を追い込んで、滝壺に落として捕らえたこと伝えられます。「牛」がつくことから、ウシ科のカモシカを獲っていたと推測されます。

絶景スポット③
富士見平(ふじみでせ)山の狭間のVラインから顔をのぞかせる富士山、まさに「高尾の逆富士」を眺めることができます。



シモノコシ
このように呼ばれる畑跡の平地があり、「こんな下まで畑をおこしに来た」から派生した呼び名と言われています。

山の営みの跡
昔、林業や、炭焼き、天然水などの生業が行われていました。炭焼き窯は沢沿いに点在し、天然水を作った水池2面、氷室の跡も現存します。



穂見神社

絶景スポット④
穂見神社の神々が見える美しい富士山の風景を見る事ができます。

高尾集落へようこそ！

穂見神社の神々しい世界へ…

裏面へ！

探してみよう！

穂見神社までの所要時間
高尾道：徒歩約100分
上宮地(平岡)道：徒歩100分
高尾林道：車で10分

